

〔古今著聞集興言利口〕妙音院入道殿師○藤原仰らるべき事有て、孝道朝臣のわかれりける時、けふたがはで祇候すべき由仰ふくめられたりけるに、孝道仰を承ながらうせにけり、ひめもすあそびありきて、夕べに歸り參じたりければ、入道殿大きにいからせ給ひて、御勘發のあまりに、贊殿の別當なりける侍を召て、麥飯に鰯。あはせにて、只今調進すべきよし仰られければ、則參らせたりけるに、孝道にくはせられけり、日暮し遊びこうじて、物のほしかりける時にて、かひぐ、敷皆くひてけり、

〔門室有職抄〕入客之儀略○中

凡食事間、俗家ニテ頗以習多之、僧中ニハ無別様云々、其中ニ飯ヨリ左ナルアハセヲ、及箸食事不可有云々、

〔皇大神宮年中行事二月〕十二日略○中次北向楊田神社拜八度、平手兩端、次西向津長神社拜八度、手兩端、次同方拜四度、在水次又楊田神社拜四度、在手皆同座、次著座、北方南向、在平張座、政所西東面、權長南北面、各在鋪設、刀禱祝東西上南面薦ヲ敷、傍官机大饗居半御廻八種、四簀盛、御汁菓子等在之○中

於津長前河端、在手水、役人同前、在鋪設、前ニ幣ヲ立、東ニ向八所ノ詔刀ヲ讀進略○中其後橋爪ニ著座、平張ノ構座、南向、政所西東向、權長南北向、各在鋪設使前大饗机居手管、廻八種、此内四ハ簀盛、必在雜在羹在菓子等、

〔守貞漫稿後類〕一菜音サイ。也、菜蔬ト云ヲ今世ニテハ精進物ノコトナレドモ、今ハ菜蔬魚鳥トモニ飯ニ合セ食ス物ノ總名トス、本字釘、音テイ、是飯ノサイト云意ノ字也、又古ハオメグリト云、海人藻芥ニ供御ノ菜ノコトヲ云テ御メグリト云、常ニオマワリ、今俗ニサイト云ハ、壺、平、猪口、香ノ物、燒物、膾、平日ノ菜ヲ京坂ニテハ番サイト云、江戸ニテハ總ザイト云、